

第三卷第七號考へ物の披露

先づ最初に後妻の子を背負ひて彼處に渡り次に前妻の子を一人り負ぶつて渡り、卸すと同時に前に渡し置きたる後妻の子を負ひて、跡戻りして最初の場所に置き、前妻の子を負ひて渡し、最終に後妻の子を負ひ渡す時は、一所に置かざるもよろしからむ。

右の解答者氏名左に

- 第一番 東京 増田しげ子
- 第二番 東京 横山榮松
- 第三番 東京 白井銈造
- 第四番 大阪 香川つね子
- 第五番 東京 黒澤芳次
- 第六番 東京 岸本福太郎
- 第七番 兵庫縣 足立乃富子
- 第八番 東京 木寺柳五
- 第九番 東京 西村
- 第十番 京都 石川靜子
- 第十壹番 陸奥國 山田ちよ子

- 第拾貳番 東京 須賀國太郎
 - 第拾三番 東京 淺田テイ
 - 第拾四番 水戸 橋本小松
 - 第拾五番 大阪 松田布美子
 - 第拾六番 大阪 高畑しげ子
 - 第拾七番 大阪 瀨田正夫
 - 第拾八番 東京 伊藤ゆき
 - 第拾九番 東京 今井健郎
 - 第貳拾番 名古屋 近藤多満子
 - 第廿壹番 伊豫國 清家章子
 - 第廿貳番 臺灣、淡水 安田甫子
 - 第廿三番 大阪 鹽見峯子
 - 第廿四番 水戸 高藤ひさ
 - 第廿五番 廣島 吉田正治
 - 第廿六番 寺田利光
 - 第廿七番 吳市 城戸よし
- 賞品として、金五拾錢の小替爲一枚ツ、
 圈點を附けたる方に、即、一番、五番、十番、
 十五番、二十番、二十五番までに進呈せり。但し
 室内電話は、解答者五十人に昇らざりしに由り
 廢めたり。
- 近藤 とさ子